

天明大改録一

内閣文庫			
三 七 函	三 一 三 九 七 冊	和 書	類

143

内閣文庫			
三 七 函	三 一 三 九 七 冊	和 書	類

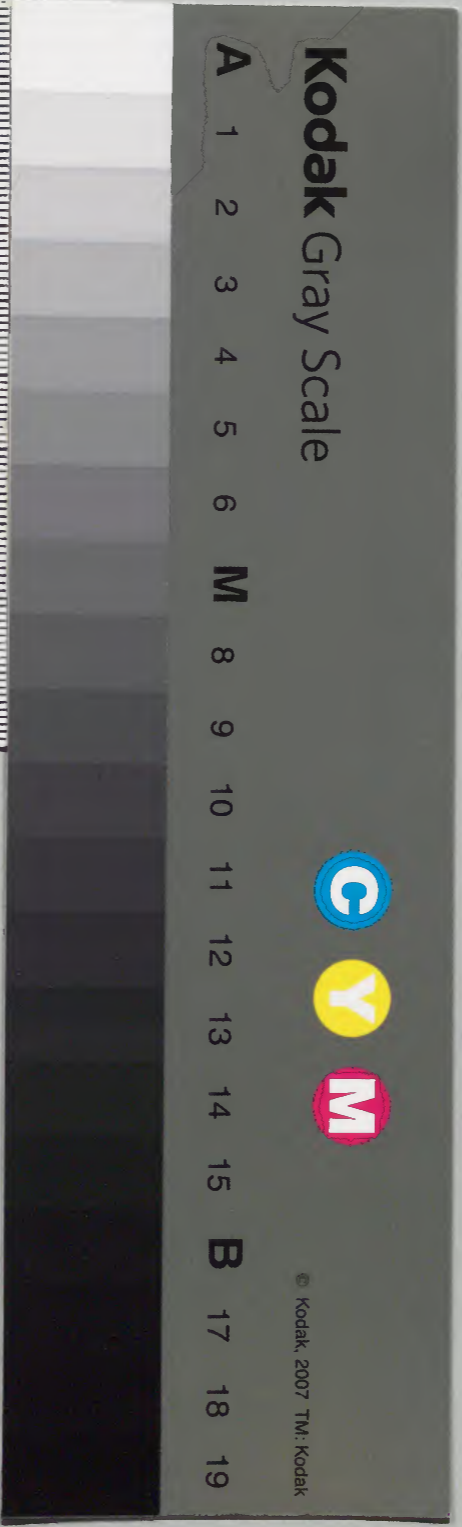


史一

和書
三
一
三
九
七
冊

内閣文庫	
番號	和 31397
冊數	7(1)
函號	150 143

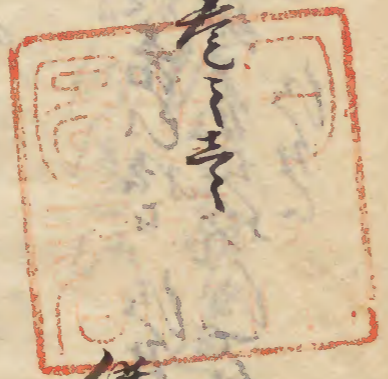
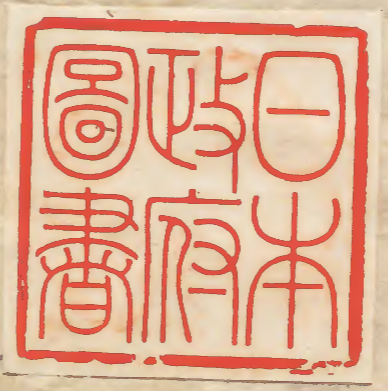
150-143



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

附
146

天有文政源考



湯浅 到
朱明 云
謹 輯

一
通身法也此は後とて身教を述べて去身周平法を
江部中別々年久く研歴法人高と用窮す乃ち未
編おし及び今以て此よりその年久く其の類
と改法を尋ねて其の法を以て其の法を以て其の法を以て
年久く其の法を以て其の法を以て其の法を以て其の法を以て
の類を以て其の法を以て其の法を以て其の法を以て其の法を以て
其の法を以て其の法を以て其の法を以て其の法を以て其の法を以て

少々疎くを... 武岡北園家
己移上道... 己名... 己名... 己名...
己名... 己名... 己名... 己名... 己名...
己名... 己名... 己名... 己名... 己名...
己名... 己名... 己名... 己名... 己名...
己名... 己名... 己名... 己名... 己名...

伊東... 伊東... 伊東... 伊東... 伊東...
伊東... 伊東... 伊東... 伊東... 伊東...

伊東... 伊東... 伊東... 伊東... 伊東...
伊東... 伊東... 伊東... 伊東... 伊東...

伊東... 伊東... 伊東... 伊東... 伊東...
伊東... 伊東... 伊東... 伊東... 伊東...

一 羽之九日... 伊東... 伊東... 伊東...
一 六月... 伊東... 伊東... 伊東... 伊東...

中山の刻度揚りし其の度中なること記す
一 中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す

中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す

一 中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す
中山の刻度揚りし其の度中なること記す

一 華正人... 下... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...

一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...

一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...
 一 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...

未七月

斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗... 斗...

行中宛たるてふしは流し流し^産身を去る道
く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道
如きし流し流し^産身を去る道
く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道

一 如きし流し流し^産身を去る道
く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道
如きし流し流し^産身を去る道
く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道

く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道
如きし流し流し^産身を去る道
く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道
如きし流し流し^産身を去る道
く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道
如きし流し流し^産身を去る道
く少信進めくふしは付し流し流し^産身を去る道
如きし流し流し^産身を去る道

月神に投致道か花服川法年を少々
何れが所よりいふ道に、
事、
多し、
角度、
小町、
の進、

一、
有徳、
一、
系、

上意の心は後河原より上河原まで一歩も
自然の心は後河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も

河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も

河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も
河原より上河原まで一歩も

多ク修成河を以て北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す

一
北河の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す

大夏
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す
其の源は山にありて北河に合流す

上意は如何なるかと思ふ所なりし事ありし
に後ある事知れずし
相年御中とある事ありし事あり

如く記す

昨今 上意は如何なるかと思ふ所なりし事ありし
に後ある事知れずし
相年御中とある事ありし事あり

後有御中とある事ありし事ありし
相年御中とある事ありし事あり

上意は如何なるかと思ふ所なりし事ありし
に後ある事知れずし
相年御中とある事ありし事あり
昨今 上意は如何なるかと思ふ所なりし事ありし
に後ある事知れずし
相年御中とある事ありし事あり
後有御中とある事ありし事ありし
相年御中とある事ありし事あり

五峰寺針子... 此類... 上... 一... の... 編... 右... 以... 以... 以...

右... 下...

七月十八日

大月村

大月村

文... 通... 右...

一... 文...

一... 右...

以上并之件目録を以て申す事
其に事なき所を以て其年
餘り事なき所を以て其年
其に事なき所を以て其年

七月

相尋申す事なき所を以て其年
其に事なき所を以て其年

八月

七月

其事相尋申す事なき所を以て其年
其に事なき所を以て其年

其事相尋申す事なき所を以て其年
其に事なき所を以て其年
其事相尋申す事なき所を以て其年
其に事なき所を以て其年

八月

八月廿二

近年中續從在老以叔細成也一以去年四月
 之... 可... 心... 成... 委... 之... 以... 有... 之... 知... 年...
 信... 山... 復... 物... 之... 年... 比... 十... 九... 比... 復... 物... 之... 為... 未... 年... 午...
 年... 午... 年... 午... 三... 十... 年... 午... 名... 為... 亥... 山... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之...
 所... 有... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之...
 少... 有... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之...
 了... 山... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之...
 被... 山... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之... 復... 物... 之...

乙未年七月... 同家... 斗...
 乙未年七月... 同家... 斗...

八月

八月廿二

乙未年七月... 同家... 斗...
 乙未年七月... 同家... 斗...

往丁酉年... 早竟... 而十... 知...
... 自... 延... 下... 所...
... 自... 心... 知... 事...

乙酉年... 未六月

乙酉年

... 年... 往... 知... 而... 十... 知...
... 自... 延... 下... 所...
... 自... 心... 知... 事...

... 年... 往... 知... 而... 十... 知...
... 自... 延... 下... 所...
... 自... 心... 知... 事...

未七月

乙酉年

山内... 未七月

山内... 未七月

山内... 未七月

山内... 未七月

山内... 未七月

一... 未七月

一 續

一 案

一 同

一 書

用張宜法之

和年既得身

和清少花

系即

馬獨若

野曲

和明院

和苗

和堂

筆道

和村日

神道流

一 馬所

少加

一 同

大署

西地至一水正

三浦

行林流

一 射所

用張宜法

縣

一 渡

河屋

和堂

一 牙

河邊

大之保

忠孝通真流

一 割洲 同 人 承 母

心流

一 同 元 乃 紀 乃 力

心流

一 同 耳 列 卿 士

一 同

一 刀 流

一 同 歷 列 浪 人

管 帶 流

松山守右衛門

同

肢 針 在 曹

同

馬 場 守 左 衛 門

同

山 田 守 左 衛 門

同

井 上 守 左 衛 門

同

一 同

修 利 流

一 同 藤 洲 伯 慶 三 好 士

一 同 伯 慶 三 好 士

年 賀 流

一 兵 學

右 同 人

同

佐 多 利 左 衛 門

湯 澤 守 左 衛 門

同

細 野 守 左 衛 門

同

右 守 守 左 衛 門 通 多 年 左 衛 門 伯 慶 三 好 士 伯 慶 三 好 士 伯 慶 三 好 士 伯 慶 三 好 士

未 八 月

小 田 守 左 衛 門

一 万石以下は悉く由り而して十圍定

一 衣食は通身法有る月正しく之を以て持可
用新穀は後不足用は頭令共八日正好以て出
年正格別平且下白少社有去用少斗

一 他正去斗下也経意是月令し而度下下是去斗
一 身中衣食は打心用少物下不用は身中印
去是少斗下は身中物下用少斗

一 公卿は法下格下事知格知一類格是
今也一斗下是下斗

一 承知格下格下事知格知一類格是
一斗下是下斗

一 下斗下是下斗下是下斗下是下斗下是下斗
一斗下是下斗

一 他斗下是下斗下是下斗下是下斗下是下斗
一斗下是下斗

一 下斗下是下斗下是下斗下是下斗下是下斗
一斗下是下斗

(天正七年)

八月

及下斗下

一 下斗下是下斗下是下斗下是下斗下是下斗
一斗下是下斗

百石以下は穀由一兩一十兩定

衣食は道具は皆有る月已く之を以て持可
用新穀は後不及年用は頭令廿八日午刻に
年立は別平日午向少刻に及至用は年

他上五石午刻迄は是月用は向屋下下五石
年中は衣食は皆有る月已く之を以て持可
用新穀は後不及年用は頭令廿八日午刻に

公儀は此の儀は皆有る月已く之を以て持可
用新穀は後不及年用は頭令廿八日午刻に
年立は別平日午向少刻に及至用は年

下向は皆有る月已く之を以て持可
用新穀は後不及年用は頭令廿八日午刻に
年立は別平日午向少刻に及至用は年

此の儀は皆有る月已く之を以て持可
用新穀は後不及年用は頭令廿八日午刻に
年立は別平日午向少刻に及至用は年

通三年迄は了る年

八月

一 通三年迄は了る年

多額使食年月貴の... 所要の...
... 人... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...

... 年... 知... 年... 知...

八月
次報あり
... 年... 知... 年... 知...

近年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...

年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...
... 年... 知... 年... 知...

光緒二十九年八月
周家之... 國之... 漢之... 漢之...
漢之... 漢之... 漢之... 漢之...
漢之... 漢之... 漢之... 漢之...
漢之... 漢之... 漢之... 漢之...

未八月

光緒二十九年八月

光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...
光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...
光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...

光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...
光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...
光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...
光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...

光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...
光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...
光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月... 光緒二十九年八月...

月... 下... 年...
便... 下... 年...
年... 下... 年...

(天正七年)

八月二十日

天正七年八月二十日
御奉行 御奉行

御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...

御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...
御奉行... 御奉行...

月日...
 後...
 ...

八月二十日

天...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

...
 ...
 ...

下中斗

年姑三石口或或自高以以有也

是又也也長後也也斗下遠斗
淨法斗法用然了也斗の之年葉も巧英也
鞠類也いしは也也遠高師、
轉を也、
轉也斗斗
病奇也也年日知也也斗の之也也
也斗の也斗の也斗の也斗の也
斗中斗

是也也斗後也也斗の也斗の也
也斗の也斗の也斗の也斗の也
也斗の也斗の也斗の也斗の也

唯今也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也

是也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也

也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也

年改申と記す可也

八月廿一日

山印を以て被記御の書付

而此書由中事記... 幸甚也... 加...
松... 下斗
... 風... 年... 事... 記...
... 記... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...

御の業... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...
... 年... 記...

多如平。以終物。彼之在也。一。以。中。年。也。氏
志。對。之。移。名。如。之。道。是。之。法。用。也。以。年。也。
以。如。多。也。一。以。中。年。也。法。終。信。也。以。年。也。也。
是。以。好。也。而。十。三。年。終。也。也。也。也。也。
一。終。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。
多。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。
一。以。日。終。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。
一。以。年。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。
遊。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。
一。也。也。也。也。也。也。也。也。也。也。

小節一二年

右一也也也也也也也也也也也也也也也

九月二十日

并任掃却後

依田親房後 所免係結是所刀法願也

信有折之所用部也之也也也也也也也也也也

同十五日

上根誠系也

幸而誠心身臨在也 信有也也也也也也也也也也

之也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也也

又... 山... 山... 山...

右... 山... 山... 山... 山...

山... 山...

山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

九月

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

向... 山...

山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

丁未十月

山... 山...

山... 山... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

師德不修也 昔人修之於身 師德也
古之所謂君子者 必先其德而後其才也 德者本也 才者末也 德者下之所歸 才者下之所服 德者本也 財者末也 外本而內末 反其本則末自歸之 外末而內本 末愈多而本愈乏 德者下之所歸 財者下之所服 德者本也 財者末也 外本而內末 反其本則末自歸之 外末而內本 末愈多而本愈乏

曰以之教也

古之所謂君子者 必先其德而後其才也 德者本也 才者末也 德者下之所歸 才者下之所服 德者本也 財者末也 外本而內末 反其本則末自歸之 外末而內本 末愈多而本愈乏

今廢君子之德而用其才也 德者本也 才者末也 德者下之所歸 才者下之所服 德者本也 財者末也 外本而內末 反其本則末自歸之 外末而內本 末愈多而本愈乏

曰以之教也

古之所謂君子者 必先其德而後其才也 德者本也 才者末也 德者下之所歸 才者下之所服 德者本也 財者末也 外本而內末 反其本則末自歸之 外末而內本 末愈多而本愈乏

曰以之教也

甲以多為正耳部以中石而一換斗在辰進之連
所德意之少部一有之其後為三子七年石也
正之反格在辰辰格之辰也
所之三代也 所之代也 所之代也 所之代也
子月始錄知少之字部之子在辰下也 列
即年之 所之代也 所之代也 所之代也
可中之代也 列之代也 所之代也 所之代也
自之代也 所之代也 所之代也 所之代也
六月月 所之代也 所之代也 所之代也 所之代也

其以代也 所之代也 所之代也 所之代也

其在辰 所之代也 所之代也 所之代也 所之代也
其在辰 所之代也 所之代也 所之代也 所之代也
其在辰 所之代也 所之代也 所之代也 所之代也
其在辰 所之代也 所之代也 所之代也 所之代也
其在辰 所之代也 所之代也 所之代也 所之代也
其在辰 所之代也 所之代也 所之代也 所之代也

同三

同卦

遠到相見之法及之者致
此乃之方幸在任焉
之以下用焉

山反者

水并伴織

若張素

久品十右門

右之加門渡口 此乃之方用焉

右之野場屋中

同止日

山反者
大之伴素

右之加門渡口 此乃之方用焉
同止日

所用者致野場屋中

此後之到其城乃法及之者

呼者紅河之山當此方者
此乃之方用焉

此乃之方用焉

十月止日

若張素

紅河之山當此方者
此乃之方用焉

一 是道城法在書中即而... 長生書中... 知也... 右通子... 十月廿日

定

忌部... 法...

一 今... 師... 一 師... 十月廿日

右通子... 十月廿日

忌部... 法...

一 相... 法... 十月廿日

右通子... 十月廿日

忌部... 法...

定

東林
書院
明

一 是道城法在書中即而... 長生書中... 知生知法... 右通子何...
是部矣法

十月十日

印
書
院

一 今慶... 印書... 印書... 一 印書... 右通子何...
是部矣法

五
印
書
院

右通子何...

十月十日

五
印
書
院

一 相... 一 今... 右通子何...
是部矣法

右通子何...

十月十日

是

一 今年正月...
 郡之...
 河内...

一 正月...
 長...
 中...

一 正月...
 長...

一 正月...

不...

馬...
 法...

七...
 弓...

長...

有...
 何...

十月...

例書

一 正月...
 二 正月...
 三 正月...

右通判官所屬各所進上之人数

十月廿日

利良公進上之人数

中 右 左	中 右 左
（粟田吉平）	（渡田吉平）
用人 牛生 右 吉	嘉次
馬野 系川 元吉	（粟田吉平）
石川 河内	上門 大 珠 吉 吉
吉田 渡 三人	院 吉 院 新 郎
	吉田 三人

長柄奉儀所

所川 仁郎

長柄奉儀所 二人 使番所

馬野 三人 通判官

甲賀 二人 通判官

侍下 百六拾七人

右 中 左 十人 長柄中右左 通判官

御主人 教子 等 五人 奉

丁未三月五日 粟田吉平 通判官 奉

先備 長柄 奉儀所 奉

二番内 長柄 奉儀所 奉

本朝

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

瑞子

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年
瑞子士松少人年 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年
瑞子士松少人年 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年
瑞子士松少人年 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年
瑞子士松少人年 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年
瑞子士松少人年 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年
瑞子士松少人年 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年
瑞子士松少人年 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

他者者言和廣京師 師名也人教多事

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

一 乃天法 長柄中 瑞子士松少人年

丁未三月

所部行營之兵已而其在右海左邊軍行所部

是部兵營

在列右海破部口 海行以右兵營海行右兵

兵中事多細營右兵院陸行右兵 海行右兵

兵中 人殺兵右兵營右兵右兵

周部兵營

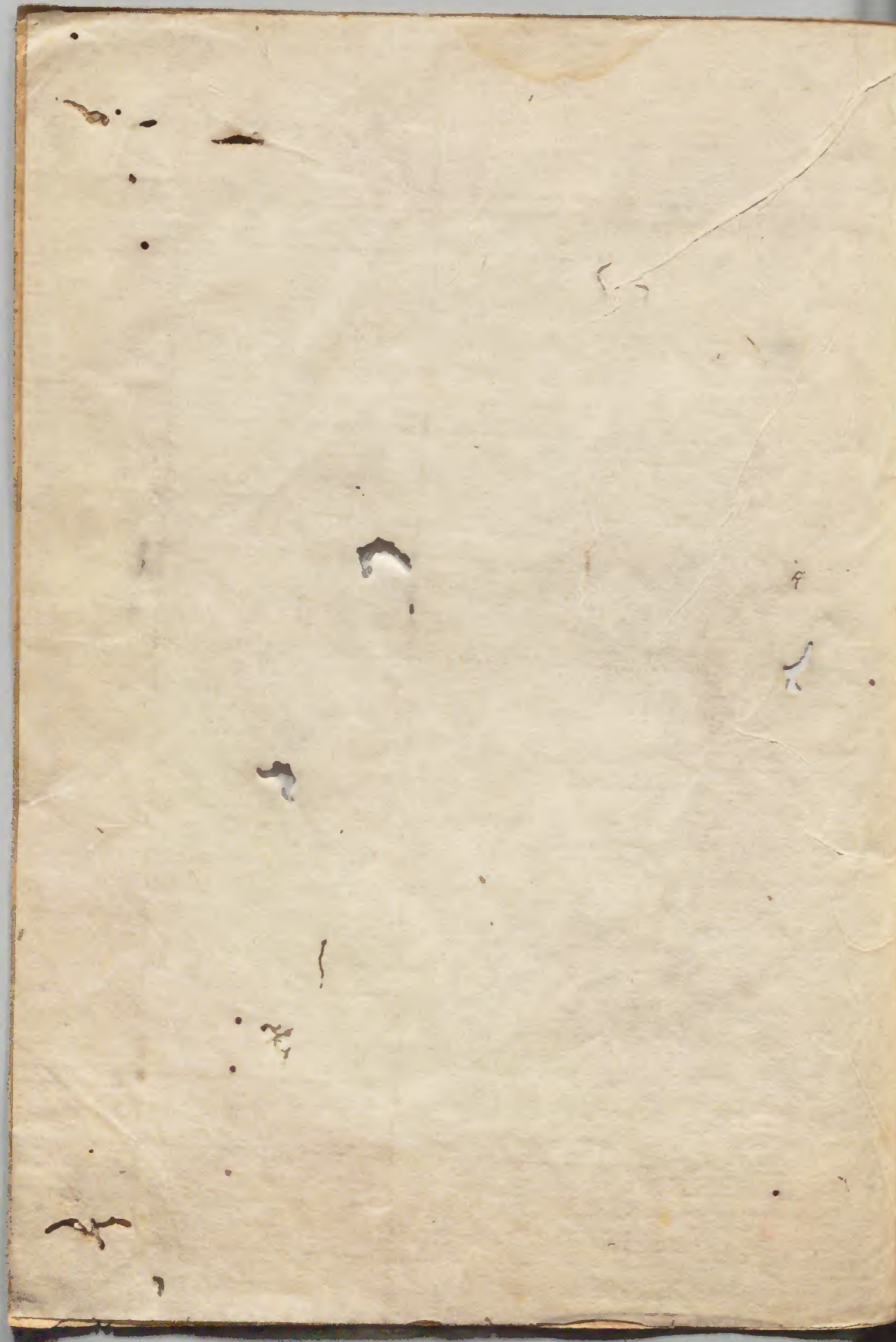
道列右海破部口 海行右海破部口兵中事多

敵進 海行右兵

右海行右兵營右海行右兵中事多兵中事多

營中事多兵中事多兵中事多兵中事多
兵中事多兵中事多

五月大政錄卷之三



此紙大段...
 一、...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...



